

平成 27 年 第 1 回とちプラザ運営審議会 議事要旨

- 1 日 時 平成 27 年 11 月 4 日 (水) 14 : 00 ~ 15 : 45
- 2 会 場 とちプラザ 3 階 特別会議室
- 3 出席委員 天内 道子、榎波 修、角田 公美子、木川 博史、作田 克博、佐藤 恵子、塩野 順子、鈴木 新一、鈴木 敏市、鈴木 義尚、高橋 淑子、保前 明美、牧野 重則、目黒 久美子 (以上 14 名 敬称略)
- 4 事務局 帯広市副市長 前田 正明
生涯学習部企画調整監 葛西 克也
生涯学習課長 樂山 勝則
商業まちづくり課主査 長谷川 雄三
生涯学習課係長 島田 猛
生涯学習課係員 岩崎 真実 (以上 6 名)
- 5 オブザーバー とちプラザ館長 黒川 明彦
とちプラザ副館長 上鹿渡 猛 (以上 2 名)
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状交付
 - (3) 帯広市挨拶
 - (4) 委員紹介
 - (5) 帯広市事務局職員等の紹介
 - (6) 議事
 - (7) 閉会
- 7 議事要旨
 - (1) 正副委員長の選出
とちプラザ条例施行規則第 2 条第 1 項の規定に基づき、委員の互選により選出。選出方法は立候補者を確認し、立候補者がいなければ推薦とすることを了承。立候補者がいなかったため、委員長に作田委員、副委員長に天内委員の推薦があり、了承。
 - (2) とちプラザの概要説明
生涯学習課係員より説明。質問、意見なし。

(3) とかちプラザ運営状況について

① 生涯学習課係員より説明。

【質問・意見等】

○委員

トイレの洋式化について、前年度の改修実績を知りたい。

●生涯学習課係長

(前年度までに実績はなく) 来年度から3年間程度で、1階、2階、3～5階に分けて、女性用和式トイレを対象に改修工事に取り組んでいきたいと考えている。

○委員

おびひろ菊まつりが開催されたが、車椅子の利用者が使いやすいトイレが必要ではないか。

また、指定管理者の平成26年度収支決算状況について、人件費が大幅に減額している要因として、想定した職員の増員に至らなかったとあるが、どのような増員を想定していたのか。

●生涯学習課係長

受付業務、各部屋の点検等における職員の増員を想定していた。

○委員

確かな情報ではないが、5階と6階に配置されているトレーナー(職員)の休みがないとの話を伺った。とかちプラザの休館日は月曜日となっているが、休館日は職員全員が休日ということによろしいか。

●生涯学習課係長

休館日は職員も休日となっている。

○委員

月曜日に祝日が重なった場合、翌日を振替休日としているはずであるが、職員は休みが取れているのか。

●とかちプラザ館長

株式会社オカモト(指定管理者)では、年間で108日の休日を消化することになっている。月曜日に出勤した場合は別の日に休日を取得することになっている。

○委員

週に1日は必ず休日があるということによろしいか。

●とかちプラザ館長

そのとおり。臨時開館がない通常の場合は、月曜日が休館日であり、職員は休日となっている。

○委員

休館日は全館休館となり、5階や6階を含め、人の出入りはできないということによろしいか。

●とかちプラザ館長

時には、休館日に業者が機材の入れ替え作業等を行う場合があり、その際に立会いとして職員が数時間出勤するということがある。

○委員

そういった場合のほかに、5階や6階のトレーナー(職員)が施設を開けることはないか。

●**とまちプラザ館長**

業者が入る場合があるほかは、休館日に開館することはない。

●**生涯学習課長**

ただ今、雇用関係でご意見を頂戴したが、指定管理者に対するご意見は一旦お預かりさせていただく。事実関係等は私どもの方で確認する。「運営審議会」なので、運営についてのご意見を賜りたい。

○**委員**

指定管理者の収支決算状況について、平成26年度の収支は約1,000万円の黒字となっているが、利用者への還元をお願いしたい。

例えば、6階に設置している有料の水素水を無料で提供してはいかがだろうか。

また、収支決算書の「自主事業」欄において、収入項目「その他」の説明が「ごみ袋、わくわく教室、水素水収入」とあるが、まとめて記入せず、それぞれの説明があるとわかりやすい。

●**生涯学習課係長**

水素水については、指定管理者の自主事業として行っており、今後協議していきたい。

●**生涯学習課長**

収支決算書は、本市のホームページで公開するために全庁的に定められている様式である。この様式では、内容が細分化されていないため、指定管理者と協議し、詳細を別途資料として作成するなど、次回以降、改善していきたい。

○**委員**

今年度より菊まつりはとまちプラザを会場として開催しているが（昨年度までは中央公園で開催）、利用者からは好評であり、室内であるため、車椅子の利用者も来場しやすくなっている。また、菊の管理が難しいところであったが、指定管理者オカモトが臨機応変に対応しており、感謝している。

利用状況について、利用率の悪い部屋の利用率向上に向けた具体的な対策はどのように考えているのか。

●**生涯学習課係長**

利用率向上に向け、指定管理者と協力しながら、部屋の特性を活かした自主事業の実施などを考えている。この審議会の場でも、委員の皆様よりご意見を賜りたい。

○**委員**

施設の中にある部屋や機能を、市民は知っているのか、また、周知がされているのか。

併せて、部屋の使用について規制があるのか、規制を緩和することで利用率が上がるか等、そのような考え方はあるか。

●**生涯学習課長**

対策すべきことは多くある。まずは、とまちプラザが備えている機能などを周知することが重要。そのために、指定管理者であるオカモトが展開している自主事業、特にプラザまつりのように、多くの利用者が来館する際に、部屋を実際に見ていただくなど、イベントを利用して周知していきたい。

それに加え、施設の使い方などもPRしながら利用率の低い部屋の活用を促進していきたい。委員の皆様からもアイデアをいただきたい。

○委員

パンフレットやホームページを見れば施設について知ることができる。しかし、実際に使ってみたいという意識がなければ、そこまで調べようとしないうのではないか。そこで、現在開催されている菊まつりのように、多くの一般利用者が来館するところで、施設をPRするような映像をモニターで放映してはいかがだろうか。

●生涯学習課係長

普段とかちプラザを利用されている方々も、決まった部屋（同じ部屋）の利用が多い。モニターでの施設の紹介について、指定管理者と協力して取り組んでいきたい。

○委員

団体の活動でとかちプラザを利用することが多いが、3ヶ月前の施設利用予約の抽選に漏れてしまう。あまり大きい部屋は必要ではない。和室が空いているといわれるが、高齢の会員が多いため、膝をつく座敷の利用が不便である。そこで、座布団ではなく、座椅子があれば利用しやすいのではないか。和室は、そういった要因もあり、使いづらいのではないだろうか。

●生涯学習課長

貴重なご意見をいただいた。実際に利用されている方の視点であり、我々の考えが及ばないところである。今後、指定管理者と協議していきたい。

○委員

私たちも団体として利用しているが高齢化が進んでいる上、20から30人程度しか集まらない。とかちプラザに、このような少人数の利用に合った部屋が増えるとありがたい。大きな部屋を分割して使えないだろうか。

●生涯学習課長

物理的な問題等、様々な課題があり、できるか否かはこの場でお答えできないが、ありがたいご意見をいただいた。

○委員

グリーンプラザは部屋を仕切ることができる。このような方法はとかちプラザで可能か。もし可能であれば、利用が増加するのではないだろうか。

また、トイレについて、洋式化ができれば満足度も上がるのでは。

○委員

和室の利用について、イベント等の開催時に、お子様をお連れの利用者におムツ替えの部屋として開放する、または、休憩室として開放するのはどうか。不採算であっても、このような使い方ができれば良いのでは。

また、和室を使った講座の開講ができないか、所属団体に持ち帰り検討したい。また、利用満足度が高いが、駐車場について80台では少ないと感じている。このことについて、何か対策はしているのか。

●生涯学習課係長

和室の利用等についてご提言に感謝する。駐車場については、立地条件からもあまり多くの台数を確保できない。そのため、利用者へは公共交通機関の利用を推奨している。

●生涯学習課長

図書館の駐車場も利用できるが、あまり知られていないため、周知していく必要がある。

会議室を仕切るという意見については、全庁的に使用料・手数料の見直しをする際に、どこまでできるか議論していきたい。

トイレについては、帯広市全体の洋式化率と比較し、とかちプラザの洋式化率が低くなっており、順次洋式化に向けて取り組んでいきたい。

和式トイレは、各トイレにつき1基残すという考え方をしているが、このことについて意見をいただきたい。

○委員

個人的に和式はいらないと思うが、和式を必要とする利用者がいるかと考える。数基残すべき。

○委員

現在の日本の主要空港には和式トイレは一つもない。また、八千代のカウベルハウスのトイレを全て洋式化したが、非常に喜ばれている。衛生面については、消毒液の設置などでクリアできるのではないか。

○委員

帯広の家庭裁判所が改築され、トイレは全て洋式となり、利用者から喜ばれている。むしろ和式のメリットは何か問いたい。

○委員

トイレトペーパーの消費量について、和式と洋式の差は把握しているのか。

●とちプラザ館長

各トイレに洋式トイレは1基しかないため、当然洋式のペーパーの消費量が多いが、和式の利用も少なくはない状況である。

●生涯学習課長

大変参考になる。重要となるのは多様性を残すことと考える。洋式化に取り組む中で、利用者のご意見を取り入れていきたい。

○委員

とちプラザの設備や部屋について、全てを把握している委員はいないと思う。施設見学をしてはいかがだろうか。

●生涯学習課係員

施設見学は計画していたところであるが、時間の都合上、今回は実施できなかった。次回の審議会で取り入れさせていただきたい。

○委員

一年に一度調理室を利用するが、時間貸しの導入により、ゆっくり利用できるようになった。感謝している。

○委員

ビデオを上映する機器は新しくなっているのか。

●生涯学習課係長

モニターがありVHSとDVDが再生できる。

(4) その他

- ① 生涯学習課係員より、とちプラザを利用した広告料収入の確保を検討していることを説明し、意見を求めた。

【質問・意見】

○委員

コンベンション協会で横断幕を貼っているが、それは無料のままで利用できるのか。

●生涯学習課係長

無料のまま利用していただける。

○委員

1 枠あたりどれくらいの大きさなのか。

●生涯学習課係長

4 m×3 m程度と考えており、広告を掲示しても、ウィンドウの下部は空く。

○委員

とかちプラザはシンボリックな施設であり、多くの観光客が目にするので、掲示するもののデザインや内容等に十分配慮してほしい。

●生涯学習課長

そのようなご意見を取り入れて進めていきたい。

- ② 生涯学習課係長より、とかちプラザの「営利目的」と「非営利目的」の利用区分について説明。この制度について意見を求めた。

【質問・意見】

○委員

来年度、帯広市で全道規模の大会の開催場所として、とかちプラザのレインボーホールを利用する予定である。我々も歓迎の横断幕を設置したいと考えているが、非営利であるため、(コンベンション協会の横断幕を)無料で利用させていただけるのか。

●生涯学習課長

コンベンション協会が掲示している横断幕については、広告料を得る枠ではない。コンベンション協会から観光課を通じて各課等に全道・全国大会等の照会があり、それに基づいてコンベンション協会が掲示しているもの。

○委員

論点は「非営利」と「営利」の判定の問題ということによろしいか。利用目的によって受付期間に差を設けた理由を伺う。

●生涯学習課係長

とかちプラザは生涯学習施設であり、その利用目的をもった人・団体を優先するためである。

○委員

広告料収入の提案があったが、財源を確保していくということでは、むしろ(営利目的の)企業を優先して申請を受けたら収入が増加するのでは。

●生涯学習課長

生涯学習施設としてのとかちプラザの設置目的があるので、変更し難い。

○委員

本来は、利用目的に沿って公平に利用されるべき。今までの基準のままで良いと考える。

○委員

今までの判断基準でよろしいと思う。様々な事情があるところではあるが、利益追求の方は二の次ではないだろうか。

●生涯学習課長

利用目的により差を設けているが、アトリウム、大集会室、ギャラリー、レインボーホールは、営利・非営利を問わず同じ期間で申請を受け付けている。様々なご意見をいただき、感謝する。

以上